

年 3月31日	連結		単位:百万円					
	営業CF	投資CF	+ FCF	= 財務CF	前期末+増減 今期末残高	有利子負債	負債÷ 営業CF	株主 配当:円
2000年	55,919	-43,463	12,455	-54,508	66,776	418,371	7.5	0
2001年	62,405	-13,938	48,467	-63,557	52,885	356,673	5.7	5
2002年	16,927	-25,848	-8,921	320	45,445	355,801	21.0	0
2003年	225	4,317	4,543	-20,077	29,294	335,460	1490.9	0
2004年	92,269	-19,202	73,067	-43,564	58,075	291,416	3.2	0
2005年	59,323	-41,514	17,809	-26,890	49,111	265,156	4.5	3
2006年	14,965	-28,555	-13,590	774	38,419	268,307	17.9	3
2007年	16,105	-34,900	-18,795	28,130	49,800	268,339	16.7	0
2008年	42,543	-22,876	19,667	-19,401	49,846	247,381	5.8	0
2009年	18,941	57,457	76,398	-59,466	64,428	203,766	10.8	0
2010年	51,290	-12,992	38,298	172,443	71,156	172,467	3.4	0
2011年	1,585	-4,423	-2,838	11,207	79,645	152,051	95.9	0
2012年	22,791	-9,392	13,399	-17,535	74,996	136,478	6.0	0
2013年	-11,619	-9,214	-20,833	-21,093	35,894	120,524	-10.4	0
2014年	31,868	-13,977	17,891	-4,270	50,866	119,000	3.7	3

現金及び現金同等物期末残高

2013年の営業キャッシュフローは、運転資金の増加及びスペインのファクタリング(債権回収業務)解消などにより116億円の支出

資金繰りをあらかずCFを上場企業は2000年3月期から開示することが、義務化されました。損益計算書(PL)は「売上げ」と「費用」を基準にしますが、CFでは、「入金」と「支払い」を基準にします。

それぞれのCF(キャッシュフロー)の意味

営業CF 事業に関連してキャッシュの増減を示す。これがマイナスだと危険

投資CF 設備や有価証券の売買での増減を示す。成長企業は投資などでマイナスが普通

財務CF 資金調達のキャッシュの増減を示す。プラスが良いかマイナスがいいかは一概にいけない。

借入金や社債の増加はプラス要因、返済はマイナス。配当金の支払いもマイナス。

2009年、OKIは約600億円の返済を行っている。10年3月期は300億円の増資

フリーキャッシュフロー(FCF,純現金収支)

営業CF+投資CFの合計。FCFがプラスなら借入金の返済や配当に回せる。

2009年の投資CFが約575億円とあるのは、半導体事業のルームへの売却益=約794億円の影響が出ています。

CFのパターンによる企業状態の判断

	営業CF	投資CF	財務CF	概略判断基準
A	プラス+	-	-	本業で稼いだので投資をしたうえ借入金も返した
B	プラス+	-	プラス+	本業で稼いでいるが投資でお金がかかり借入金などで補った
C	プラス+	プラス+	-	本業出稼ぎ、資産売却もあってキャッシュが増え、借入金を返却
D	-	-	プラス+	本業でキャッシュが減った。投資もしているが、借入金で補った
E	-	プラス+	プラス+	本業でキャッシュが減ったので資産売却や借入金で補った
F	-	プラス+	-	本業でキャッシュが減ったので資産売却で補い借入金は返済

メモ) 営業CFと有利子負債の関係

有利子負債÷営業CF=現在の負債が現在の営業CFであれば何年分に相当するか?の目安
一般的に10年(10倍)以下が銀行が融資をするときの基準といわれる。

